

一般社団法人カーボンリサイクルファンド（CRF）
2026年度研究助成活動に係る募集要項

【募集趣旨】

- ✓ CRF は、炭素循環（カーボンリサイクル）のイノベーションの創出の重要性に着目しており、CRF 研究助成活動によるグラントの公募を開始いたします。
- ✓ 組織は問わず、研究者個人（又はチーム）でご応募頂きます。2050 年カーボンニュートラルに資する研究成果を期待しており、化学、燃料、鉱物化をはじめバイオ等のネガティブエミッションなど幅広い分野からの応募を可能としています。
- ✓ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）等と連携したプログラムになっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けての支援をさせて頂いております。
- ✓ さらに、カーボンニュートラルの実現では、国境を越えた取組みが重要です。そのため、海外の企業・研究機関と連携した研究を期待しています。
- ✓ CRF はカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手教育プログラム）を開催するなど、人材育成に力を入れており、今回、若手研究者からの多くの応募を期待しております。

1. 研究助成活動の目的

当法人では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 131 条及び一般社団法人カーボンリサイクルファンドの定款第 29 条から第 32 条及び寄付金規則第 2 条（1）に基づき、研究助成ファンドを創成し、循環炭素社会の実現に向けたカーボンリサイクルに係る研究へのグラントの交付を行います。

一般的にカーボンリサイクルとは、CO₂を資源として活用し、主に化学品・燃料・鉱物などへ転換すること指しますが、当法人が考えるカーボンリサイクルでは、それらに加え、

- ・ 農林水産をはじめとする自然の力を活用する形でのCO₂吸収
- ・ 炭素を含む材料のリサイクルなども含めた広い概念（炭素循環社会の実現）

とお考え下さい（図 1）。

日本においては2023年2月に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」において、2030 年度の温室効果ガス 46%削減、2050 年カーボンニュートラルを実現することを目指すこととされました。また、2023年6月には「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律」（通称：GX推進法）が施行され、GXを推進する

ための新たな投資支援政策等が進められています。

このような背景により、研究助成活動では、カーボンリサイクル技術のコスト低減等に向けた研究、あるいはカーボンリサイクルの社会実装に向けた課題解決に関する研究等に対する助成・支援を通じて、カーボンリサイクル・イノベーション創出に貢献することを目的としています。

カーボンニュートラルの実現においては、国境を越えて全世界で取り組むことが重要と考えています。したがって、本研究助成活動でも海外の企業・研究機関と連携して取り組まれている研究者を積極的に応援したいと考えております。

また、2050年カーボンニュートラルという長期目標の達成する上では、若手研究者の育成が重要と考えており、当法人では2021度よりカーボンリサイクル大学（ワークショップ形式の若手人材教育プログラム）を開催しています。本研究助成活動においても若手研究者の方も積極的に応援したいと考えております。

欧米では、カーボンリサイクルに係る技術を有するスタートアップが多数立ち上がりイノベーション創出に繋がっています。我が国においてもスタートアップへの徹底支援を掲げ、スタートアップ育成に重点が置かれ始めました。当法人としては、趣旨は同様ですが、応募様式を簡略化したスタートアップ枠を設け、スタートアップ育成とイノベーション創出を後押ししていきます。

なお、本活動は、NEDO等の国プロと連携したプログラムとなっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けても支援させて頂いております。



図1 循環炭素社会のイメージ

2. 概要

上記目的のための研究助成活動として、一般公募枠とスタートアップ枠を設置します。必要書類や提出先は3. 募集要項をご確認ください。

なお、2026年度からスタートアップ枠と一般公募枠との併願ができません。

※スタートアップ枠に関しては、特にシードステージ/アーリーステージのスタートアップ企業・中小企業・法人や起業予定の研究者の方からの応募をお待ちしております。

※重複が認められた場合は、一般公募へのご応募として扱います。

3. 募集要項

(1) 研究助成対象

社会的課題を解決するため、CO₂（あるいは炭素原子や炭素を含む材料）を資源として利用するカーボンリサイクル及び関連技術、並びにカーボンリサイクルを実現するための社会科学や制度設計等の分野に関する研究や気候変動対応に資する技術

(2) 研究分野（具体例）

① CO₂分離回収(直接空気回収(DAC)を含む)・固定化技術(鉱物化等)

- ✓ 鉱物化（コンクリート製品、炭酸塩固定等）
- ✓ CCS^{※1}、DACCS^{※2}、BECCS^{※3}等に係るCO₂の効率的分離回収技術（吸収液・材、分離膜、直接空気回収等）

※1 CCS：Carbon dioxide Capture and Storage(CO₂回収・貯留)

※2 DACCS：Direct Air Capture with Carbon Storage (直接大気回収・貯留)

※3 BECCS：Bio-energy with Carbon Capture and Storage(バイオマスCO₂回収・貯留)

② 燃料・化学品への転換技術

- ✓ 化学品（オレフィン、BTX、生分解性プラスチック製造等）
- ✓ 燃料（メタネーション、バイオ燃料製造、EOR（石油増進回収）利用等）

③ 社会科学やカーボンリサイクル普及に向けた制度設計等の分野

- ✓ CO₂削減シナリオやカーボンリサイクル導入促進シナリオ
- ✓ カーボンリサイクル普及に向けた制度設計
- ✓ CO₂の価値付けの検討等

④ 炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術

- ✓ ケミカルリサイクル

⑤ 生物等を活用した技術

- ✓ 生物の活用（細菌・バクテリアの活用、遺伝子操作・品種改良による光合成効率化等）

- ✓ バイオミメティクス（人工光合成等）
- ⑥ カーボンリサイクルの価値向上に係る技術
 - ✓ AI/IoT 技術による CO₂ の見える化
 - ✓ CO₂ を使った高付加価値材へ転換・機能性材料（カーボンナノチューブ、グラフェン製造等）
 - ✓ 医療分野（炭酸効果活用等）
- ⑦ CO₂ 吸収源活用によるネガティブエミッション分野
 - ✓ グリーンカーボン・ブルーカーボン・マリンホワイトカーボン^{※4}等
 - ✓ 農林水産分野（ビニルハウスによる促成栽培、土壌固定、植林・早生樹等）
※4 マリンホワイトカーボン：貝類やサンゴ等の海洋生物により鉱物固定(CaCO₃)化された炭素
- ⑧ その他（水素製造・アンモニア製造、気候変動対応に資する技術）
 - ✓ 水素の効率的生産（水電解技術、水素の生産を促進する菌等）
 - ✓ 効率的なアンモニア合成・分解
 - ✓ 気候変動の対応（ジオエンジニアリング、防災等）

（3）応募者の範囲

大学や企業、法人等の研究者又は研究チームとします。応募は所属する大学、企業、法人等の許可を得た上でご応募ください。研究代表者の国籍は問わず、所属機関は日本法人とし、カーボンリサイクルファンド会員・非会員については問いません。

特に、2050年カーボンニュートラル達成を担う若手研究者の方からの応募をお待ちしております。

（4）助成・支援金額

1件あたり最大1,000万円とし、一般公募枠10件程度／スタートアップ枠5件程度を予定。

（5）助成・支援期間

助成・支援の対象となる研究期間は、2026年9月1日から最長で2028年8月31日までの間を目途とします。

(6) 応募方法

① 申請フォームへの記入及び提出物

応募に際しては申請フォームの記入及び表1の電子データを申請フォームから提出してください。

表 1 提出物

一般公募枠	スタートアップ枠
研究助成金交付申請書表紙（様式1号）	スタートアップ枠申請書（様式2号別紙5）
研究助成金交付申請書（様式2号）※4	
助成研究概要（様式2号別紙1）	
助成研究内容（様式2号別紙2）	
PR動画（任意提出）※5	

※4 所属機関長の印が押印されたものを提出してください。申請書への押印手続きが提出期限までに完了しない場合、未押印の申請書も受け付けることとします。ただし、募集期間終了後、1週間以内に、押印済みの申請書を（13）問い合わせ先にE-mailに添付し提出してください。

※5 自己紹介・当該研究内容のポイントの説明や意気込みなどをPRする動画を作成してください。提出は任意ですが、提出頂けますと審査において審査員の理解の助けとなります。提出動画は5分以内、ファイルサイズ100MB以内としてください。

② 募集期間

2026年4月22日（水）～ 5月26日（火）17時

なお、公募説明会は実施いたしません。ご不明な点は（13）の問い合わせ先までご連絡ください。

(7) 選考方法

【一般公募枠】

- ① 採択審査委員会で選考いたします。
- ② 選考は提出物（任意提出の動画を含む）に基づいて行い、1次選考（ピアレビュー）・2次選考の2段階に分けて実施します。
- ③ 1次選考では、「助成研究概要（様式2号別紙1）」「研究助成内容（様式2号別紙2）」に基づき、主に研究内容の革新性、独創性、従来研究に対する優位性およびカーボンリサイクルに関する社会実装性について評価を行います。
- ④ 1次選考を通過した応募に対して、2次選考を実施します、2次選考では、全て

の提出物に基づき、研究内容の革新性、独創性、従来研究に対する優位性、カーボンリサイクルに関する社会実装性に加えて、研究計画および体制の妥当性についても評価します。

【スタートアップ枠】

- ① 事務局にて選考のうえ、採択候補を採択審査委員会に推薦します。
- ② 選考は提出物（任意提出の動画を含む）に基づいて行います。

【共通】

- 選考の結果は、8月上旬頃に申請者宛にご連絡いたします。
- 採用された申請者には決定通知と助成金交付手続き書類を送付します。
- 採択された案件については申請者(研究代表者名・所属機関)・テーマ名をWebサイトで公表いたします。また、当法人が主催するセミナーや外部機関が主催する学会・セミナーで公表する場合があります。

(8) 助成金の交付

- ① 交付の時期及び方法は、交付決定後、速やかに研究代表者所属機関指定の口座にお振込みいたします。必要があれば、交付決定時に申請者と支払時期や支払方法を協議して定めます。
- ② 助成金を交付する際には、後記（9）に従うことを承認したことを示す請書を提出していただきます。
- ③ 後記（9）に反した場合は、助成金の一部または全部について返還を求める場合があります。

(9) 助成金交付における注意点

助成金交付における主な注意点は以下の通りです。その他詳細は、Webサイトに添付しております助成金交付規程をご確認下さい。

- ① 真に研究に必要な資金であれば、特に用途についての制限はありません。費目の詳細は助成金交付規程をご確認下さい。ただし、申請者が所属する機関の間接経費に充てることはできません。
- ② 助成研究が終了したときは、研究結果概要を記載した実績報告書を当法人に提出して下さい。また、30日以内に当法人に成果報告書を提出して下さい。
- ③ 研究期間が1年を超える場合は、前記②に加えて助成事業開始から1年経過した時点における中間報告書を当法人に提出して下さい。
- ④ 助成開始から1年後を目途に、当法人が主催する研究成果報告会（都内にて開催）に出席し、研究の進捗および(中間)成果を報告して下さい。

⑤ 研究助成は「研究助成交付申請書」記載内容に基づき実施して下さい。

(10) 情報の取扱いについて

提出書類に記入された情報は、採択審査および採択審査後の申請者に対するフォローアップのためのみに使用し、法令等が定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。

当法人の個人情報保護方針はWebページ (<https://carbon-recycling-fund.jp/privacy.php>) に記載しており、提出書類に記入された個人情報も本方針に基づいて取り扱います。

(11) 申請書提出先

以下の申請フォームに基本情報を入力の上、提出物一式を投稿してください。提出物のファイル名には先頭に「(研究代表者所属機関名)_(研究代表者氏名)_(様式番号)」をつけてください。所属機関名は略称でも可とします。

ファイル名の例)

カーボンリサイクルファンド_炭素循子_様式2号別紙1.pdf

提出物はPDF形式で提出してください。

申請書類の再提出は原則認めませんので、十分確認の上提出してください。

【申請フォーム】 ※4/22の公募開始より登録を受け付ける予定です。

- 一般公募枠：
https://carbon-recycling-fund-kaiinsys.spiral-site.com/gp_page
- スタートアップ枠：
https://carbon-recycling-fund-kaiinsys.spiral-site.com/su_page

(12) 申請／審査スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研究者	4/22	←→ 応募	5/26 17:00		←→ 助成手続	→ 研究開始 (最長で2028年8月末まで)	
事務局			←→ 採択審査		↑ 採択/不採択通知 8月上旬		

(13) 問い合わせ先

〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目34-7 第一三須ビル3階
一般社団法人カーボンリサイクルファンド 研究助成グループ

(担当：橋本、尾崎)

TEL 03-6432-0011

e-mail : grant@carbon-recycling-fund.jp

(14) その他

当法人では、不採択となった場合も、当法人の会員企業とのマッチング等様々なご支援を行っておりますのでお申し付け頂ければ幸いです。

当法人に賛助頂ける会員を常時募集しております。特に、学術機関に所属される研究者は無償で学術会員となれますので、これを機に検討頂けますと幸いです。詳細は当社Webページをご参照ください。

<https://carbon-recycling-fund.jp/enrollment.php>

— 以上 —